

*** 月に1回の「ことわざタイム」復習問題集 ***

昨年度末問題に今年度分を追加しました。是非、みなさんで挑戦してみてください。

☆ ことわざ・四字熟語問題 ～平成29年度版～ ☆

- ①<4月>
好きなことは一生けんめいがんばるから、必ず上達することができる。
- ②<5月>
ゆだんは失敗の原因、何よりもおそろしいてき。
- ③<6月>
つらくても、しんぼうしつづけていれば、必ずせいこうすること。
- ④<7月>
朝早く起きると、よいことがあるということ。
- ⑤<8月>
何回も人の話を聞くよりも、たった1回でもじっさいに自分の目で見ることが、よくわかるものだということ。
- ⑥<9月>
月日のたつのがとても早いこと。月日はあつという間に過ぎ、2度ともどってこないこと。
- ⑦<10月>
1つのことをすることで、同時に2つの得をすること。
- ⑧<11月 その1>
人によってそれぞれ好みや考え、性格はみんなちがっているということ。
- ⑨<11月 その2>
3人の者がいれば、3つのさま、様子などがある。人によってやり方や考えなどがそれぞれちがうこと。
- ⑩<12月>
いつもにこやかに笑っている人の家には、自然に幸福、幸せがやってくるということ。
- ⑪<1月 その1>
でしゃばると思わぬ災難にあうこと。じっとしていないで、何でもいいからやってみれば思わぬ幸運に出会うことがあること。
- ⑫<1月 その2>
人目につかないところで、他人のために支えて、支える苦労や努力をすること。また、そのような人。
- ⑬<2月>
立ち去る者は、あとしまつをきちんとして、美しく去るべきということ。ものごとの引き際は美しく潔いこと。
- ⑭<3月>
学問や人徳（人柄）をよりよくするために、努力に努力を重ねること。また、友人どうしで励まし合い、競い合って向上すること。



☆ **ことわざ・四字熟語問題** ~平成30年度版~ ☆

- ⑮ 〈4月〉
しつぱい 失敗してもその理由を考りゆうえたり、反省して改はんせい善かいぜんしていくことで、成せいこう功ちかに近ちかづくことができるということ。
- ⑯ 〈5月〉
 物事ものごとになれてなまけたりすることのないように、始はじめた時ときの心こころ構がまええや決けつしん心わすは忘わすれずにいるべきということ。
- ⑰ 〈6月〉
 一生いっしょうに一度いちどだけの機き会かい。いいろいろうな出で会あいは、二に度どとないつもりで大たい切せつにしなしねばねならない。生せい涯えんに1回いちかいしかないと考かんがえて、そのことことに専せん念ねんするということ。
- ⑱ 〈7月〉
 ちりのように小ちいさなかさものでも、積つもり積つもれば山やまのようおおに大ちいきあくなる。小ちいさなこちいともこちいつこちいつと積つみ重かさねていけば大おおきなこおおと、成せい果かとなり表あらわれるということ。
- ⑲ 〈8月〉
 場ば合あいによっては、争あらそわあないで相あ手てに勝かちをゆかずったほうほうが自じ分ぶんにとつてとくとくな結けつ果かになつて、自じ分ぶんの勝かちにつつながるといいうこと。
- ⑳ 〈9月〉
 終おわつてしまつたこかとを後あとでくやまんでもどどうにもまならないので、始はじめる前まえによく考かんがえて努どりよく力りきしなければなららないといいうこと。
- ㉑ 〈10月〉
 気き持もちのここもつた目めつつきや目めのようすは、こことばで言いうのと同おなじくあらいに相あ手てに気き持もちが伝つたわるももだといいうこと。
- ㉒ 〈11月〉
 自じ分ぶんで自じ分ぶんのおおここないや自じ分ぶん自じ身しんをほほめること。
- ㉓ 〈12月〉
 人ひとに親しん切せつにすると、相あ手てのためためばかりではななく、やあがてはめめぐりめめぐつて自じ分ぶんも人ひとから親しん切せつにさされるといいうこと。
- ㉔ 〈1月 その1〉
 目もく標ひょうのものやこことにたいしてがむむしすやらに進しんむすこと。また、周しゅう圍いの人のこことや状じょう況きやうを考かんがえずに、一ひとつのこことに向むかつて猛もう烈れつな勢いきおいで突つき進すすむこと。
- ㉕ 〈1月 その2〉
 始はじめる前まえはああれここれ心しん配ぱいをすするものものだが、実じつ際さいにやあつてみみると、案あん外がいたやあすくでできるものものだといいうこと。
- ㉖ 〈2月〉
 三さん人にん集あつまつて考かんがえればすすばららしい知ち恵えがでるものものだといいうこと。
- ㉗ 〈3月〉
 いいくら親したしくて仲なかがよよい人ひとでああつても、守まもるべき礼れい儀ぎがあるといいうこと。



☆ **ことわざ・四字熟語問題** ～令和元年度版～ ☆

- ⑳ 〈4月〉
 急いでものごとをやりとげようとすると、危険なことが多いので、近道に行くよりも、安全で確実な遠回りに行くほうがかえってとくになるものだという事。
- ㉑ 〈5月〉
 人や本から教わるよりも、自分が練習や経験を重ねたほうが、よく覚えられるという事。
- ㉒ 〈6月〉
 何気なく言ったことが、災難をまねくことがあるから、しゃべるときは注意をしなければならぬという事。
- ㉓ 〈7月〉
 ものごとに非常にあきっぽく、なかなか一つのことが長続きしない事。また、そのような人の事をいうことば。
- ㉔ 〈8月〉
 どんなに得意な人でも、時には失敗をすることがあるという事。
- ㉕ 〈9月〉
 ふだんから準備をしておけば、いざという時、何も心配がないという事。
- ㉖ 〈10月〉
 いっしょに何かをするときに、おたがいの気持ちや動きが、ぴったり合う事。
- ㉗ 〈11月〉
 小さいときからの友だち、おさななじみ。
- ㉘ 〈12月〉
 どんな困難に出会っても、けっして心がくじけない事。
- ㉙ 〈1月 その1〉
 ある動機をきっかけに、気持ちが良い方向に向く変化すること。また、ある出来事をきっかけとして、心や気持ちを良い方向に入れ変える事。
- ㉚ 〈1月 その2〉
 ものごとや勝負ごとでは、最初の一回、二回はだめでも、三度目は確実にできるという事。三度目は、期待通りになるという事。
- ㉛ 〈2月〉
 他人の行動を見て、よいところは見習い、悪いところは改めよという事。
- ㉜ 〈3月〉
 学問や状況に応じた行動をとること。場合によって、その対応を変える事。



☆ **ことわざ・四字熟語問題** ~令和2年度版~ ☆



- ④① 〈4月〉
 どんな苦難もどんな困難も辛抱して乗り越え努力を重ねれば、
 やがて花が咲き、実もなる。
- ④② 〈5月〉
 石でできたがんじょうな橋でも、たたいて安全を確かめてから渡るとい
 うことから、用心の上にも用心深くし、慎重に物事を行うということ。
- ④③ 〈6月〉
 いまだかつて見たり聞いたりしたことのない、経験したことのない事態。驚くべき
 事件や珍しいできごとなどをいうことば。
- ④④ 〈7月〉
 髪の毛一本ほどのわずかな差で、大変なことになる瞬間や状況という意味。
- ④⑤ 〈8月〉
 何もかも失ってしまい、今までの努力がすべてむだになってしまうということ。
 「元」は商売のもとになるお金、「子」はその利子やもうけのこと。どんなに得意な人
 でも、時には失敗をすることがあるということ。
- ④⑥ 〈9月〉
 体によくきく薬は苦くて飲みにくい、病気のためにはすぐれたききめがあるとい
 うことから、よい忠告は聞きづらいことがあるが、自分のためになるということ。
- ④⑦ 〈10月〉
 ある一つのことを見れば、他のすべてのことが推測できるということ。また、一
 つの小さなことに見られる傾向が、すべてのことに現れるということ。
- ④⑧ 〈11月〉
 知らないことを人に聞くのは、そのときは恥ずかしいと思っても、聞かなければ
 一生知らぬまま過ごすことになるので、そのほうが恥ずかしいという意味。
- ④⑨ 〈12月〉
 人が取り残した物の中には、思いがけずよいものがあるということ。我先にと人
 を押しのけるよりも、人と争わずえんりよ深い人にこそ幸運があるということ。

※ 答えは下記のとおりです。何問できたかな？

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|--------------|
| ① 好きこそものの上手なれ | ⑮ 失敗は成功のもと | ⑳ 急がば回れ | ㉑ 辛抱する木に花が咲く |
| ② 油断大敵 | ⑯ 初心忘るべからず | ㉒ 習うより慣れよ | ㉒ 石橋をたたいて渡る |
| ③ 石の上にも三年 | ⑰ 一期一会 | ⑳ 口は災いのもと | ㉓ 前代未聞 |
| ④ 早起きは三文の徳 | ⑱ ちりも積もれば山となる | ㉑ 三日坊主 | ㉔ 危機一髪 |
| ⑤ 百聞は一見にしかず | ⑲ 負けるが勝ち | ㉒ サルも木から落ちる | ㉕ 元も子もない |
| ⑥ 光陰矢の如し | ⑳ 後悔先に立たず | ㉓ 備えあれば憂いなし | ㉖ 良薬は口に苦し |
| ⑦ 一石二鳥 | ㉑ 目は口ほどにものをいう | ㉔ 阿吽の呼吸 | ㉗ 一事が万事 |
| ⑧ 十人十色 | ㉒ 自画自賛 | ㉕ 竹馬の友 | ㉘ 聞くのは一時の恥 |
| ⑨ 三者三様 | ㉓ 情けは人のためならず | ㉖ 不撓不屈 | ㉙ 聞かぬは一生の恥 |
| ⑩ 笑う門には福来たる | ㉔ 猪突猛進 | ㉗ 心機一転 | ㉚ 残り物には福がある |
| ⑪ 犬も歩けば棒にあたる | ㉕ 案ずるより産むが易し | ㉘ 三度目の正直 | |
| ⑫ 縁の下の力持ち | ㉖ 三人寄れば文殊の知恵 | ㉙ 人の振り見て我が振り直せ | |
| ⑬ 立つ鳥跡をにごさず | ㉗ 親しき仲にも礼儀あり | ㉚ 臨機応変 | |
| ⑭ 切磋琢磨 | | | |

